

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	情報システム基礎 (Fundamental Information System)	授業コード	E026351
担当教員名	本村 裕之		
配当学年	1	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	座席数制限の可能性あり		
受講心得	ほとんどの人にとってまったく新しい知識が入ってきます。 欠席や遅刻はそのまま知識の欠落を招きます。時間の厳守を心掛けてください。		
教科書			
参考文献及び指定図書	授業中に指定します		
関連科目	情報リテラシー1、2、3 プログラミング入門、プログラミング言語 データ解析A、B 経済統計システム分析論		

授業の目的	情報システム基礎は、経済経営学科内のコンピュータ関連科目にとって必要な入門的専門科目で、情報システム論およびプログラミング入門をはじめ、コース内の他の専門科目を理解する上で役に立つ基本的なことを学びます。具体的には、情報と情報処理、数値と文字などデータの表現、文字コード体系、ハードウェアの基本、ソフトウェアの基本、ネットワークの基本、ファイルの基本、データベースの基本、フローチャートの基本、C言語の基本、プログラミングの基本、システム開発の基本、情報システムと経営・社会などについて学習します。
授業の概要	

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：情報とは？情報システムとは？ 情報とは何か？情報システムとは何か？身の回りで増えてきた、必要となってきた情報の扱いについて学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第2週：コンピュータのシステム1 コンピュータのシステムの概観について学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第3週：コンピュータのシステム2 特にCPUやメモリと言ったハードウェアについて学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第4週：コンピュータのシステム3 特に、オペレーティングシステムや管理システムについて学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第5週：ネットワーク技術 ICT(Information and Communication Technology)の基本的な考え方について学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第6週：データ1 データの扱いについて学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第7週：データ2 2進数、10進数、16進数といったデータの扱いについて学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第8週：表計算ソフト1 エクセルを使った計算を学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第9週：表計算ソフト2	

論理式、条件式について学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第10週：データベース技術 Web情報システムやデータベース技術に関する一般的な考え方を学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第11週：品質管理(Quality Control)1 業務に必要な知識としての品質管理の道具について学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第12週：品質管理2 業務に必要な知識としての品質管理の道具について学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第13週：品質管理3 業務に必要な知識としての品質管理の道具について学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第14週：品質管理4 業務に必要な知識としての品質管理の道具について学びます	復習を必須とする。また適宜課題を与える。
第15週： 今までの学習のまとめと確認を行います	
第16週：期末試験	
授業の運営方法	(1)授業の形式 「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式 「複数クラス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング
備考	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	コンピュータ(電子機器)に対する嫌悪感の払拭
【知識・理解】	講義で学ぶ知識と実際の生活の上で見えてくる新聞・テレビなど各種メディアから得られる情報との整合
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	中期の情報リテラルに対する理解と利用法に対する初歩的能力の取得

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点		
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	20点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	50点	10点		
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	完全な形での提出をすること。提出に際しては口頭試問を行い到達度を確認する。
発表・その他(無形成果)	